

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)		区分	
2	鉛給水管解消事業	新規	拡大 継続
会計区分	款	項	目
水道事業会計	1	1	3
所管			
水道局 業務部 給水装置課			
事務事業の位置付け			
しあわせ倍增プラン2009	番号		事業名
総合振興計画新実施計画	事業コード		事業名
根拠法令等			
予算要求事業の概要			
内容	道路部分の水道本管分岐部分及び宅地内の水道メーター前後に使用されている鉛製給水管をステンレス鋼製フレキに交換する工事を行い、平成15年度から平成22年度までの8か年の年次計画に基づき、鉛製給水管の解消を図ります。		
目的・目標	<p><目的> 鉛製給水管を解消し、給水装置を震災に強く漏水事故発生率の少ない構造にすることで、市民に安全で良質な水の安定供給を図ることを目的としています。</p> <p><目標(平成22年度末)> 1 鉛製給水管解消率 100%</p>		
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)> 1 鉛製給水管解消率 78%</p> <p><課題> 1 施工区域 市街地中心区域を施工するにあたり、事前調査や準備に時間が掛かり、土地が狭いなど施工環境が困難性を増し、目標の解消率を達成することがこの事業の中では難しいと推測されています。 2 未施工対応 今まで対応した中で、施工できなかった箇所については、再度解消工事が可能か精査し、解消率の向上に努めます。</p>		
今後のスケジュール	<p>・平成22年度 鉛給水管取替修繕工事件数 13,467件 宅地内 11,732件 道路部 1,735件</p> <p>・平成23年度 鉛給水管解消事業は終了しますが、鉛給水管残存数は、約19,300件と予想していますので、今後は、他の水道工事(漏水修繕工事や老朽管布設替工事など)での解消や、水道メーターの交換時期に合わせての解消を図っていきます。</p>		

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考	
平成21年度	当初予算	1,474,498	<p><積算内訳></p> <p>1 宅地内フレキ交換 12,600件 931,181</p> <p>2 道路部フレキ交換 2,759件 543,317</p>
	財源内訳 自己財源	1,474,498	
平成22年度	当初予算要求	1,093,742	<p><積算内訳></p> <p>1 宅地内フレキ交換 11,732件 776,675</p> <p>2 道路部フレキ交換 1,735件 317,067</p>
	財源内訳 自己財源	1,093,742	<p><要求理由></p> <p>鉛給水管解消事業を実施するにあたり策定した8か年の年次計画に基づき、鉛給水管の残存件数を算定し、交換工事するために必要な修繕費を要求するものです。</p>
	水道事業 管理者査定	1,093,742	<p><査定内容></p> <p>1 宅地内フレキ交換 11,732件 776,675</p> <p>2 道路部フレキ交換 1,735件 317,067</p>
	財源内訳 自己財源	1,093,742	<p><査定理由></p> <p>内容及び積算を確認し、適正であると認められるため要求のとおりとしました。</p>
	市長査定	1,093,742	<p><査定内容></p> <p>同上</p>
	財源内訳 自己財源	1,093,742	<p><査定理由></p> <p>水道事業管理者査定の内容及び理由について、適正と認められるため、水道局原案のとおりとしました。</p>